

# 「菓子詰め合わせ」海外へ

さいたま

## 越境サブスクで魅力発信

さいたま商工会議所は10月16日、株式会社ICHIGOが展開する海外向け菓子類サブスクサービス「Sakuraco」で、さいたま市内の菓子類などを箱詰めにした「さいたまBOX」の販売を開始した。市内菓子メーカーなど自慢の20商品が味わえるボックスを世界各地に向けて1カ月間販売。さいたま市の魅力を伝えるとともに、企業の海外展開を支援する。

「さいたまBOX」は、全20アイテムのうち、落雁（らくがん）や雷おこし、せんべい、かりんとうなどさいたま市に関連する菓子を11個詰めたオリジナルボックス。市の歴史や

観光地などを英語で紹介したPR冊子も同梱しているほか、市内の観光地巡りや菓子の製造工程に関するPR動画も制作して「ICHIGO」の公式SNSでPRするなど、さい

たま市の魅力を世界中に発信している。「ICHIGO」は、越境ECサービスを世界約180カ国で展開。同社のサービス「Sakuraco」では、月ごとにテーマ

を決めた日本各地の和菓子や日本茶のボックスを全世界へ販売していき、今回同所の提案で全国初の市単位によるコラボボックスを企画した。10月12日には、「さいたまBOX」の販

売を記念して同所の持田光司専務理事、同社の近本あゆみ代表取締役が清水勇人市長を訪問。会員事業所や市内の菓子メーカーの新たな海外販路を創出するとともに、販売プロモーションを通じて外国人を対象としたさいたま市の観光振興も目指し、協力して取り組むことなどを確認した。価格は32・5ドルからで、11月15日まで販売。販売終了後は、同社が運営している単品販売サイト「JAPAN HAUL」で継続して販売する。詳細はこちら



清水市長（右から2人目）を訪問したさいたま商工会議所持田専務理事（右）ら

さいたま市に関連する菓子など全20アイテムがBOXに